

年 組 番 名前

教材6-1(1)の解答書く

(1) 次の

[]

の中からあなたが好きなものをえらんで、

【例】のように好きなわけを書きましょう。

春 夏 秋 冬

わけを書くときは、「なぜか」と「や」「その理由は」の言葉を入れるとわかりやすいよ。



【例】

わたしは夏が好きです。なぜかというと、夏には体育たいいくで水泳すいえいをするからです。

(例)

ぼくは、秋が好きです。なぜかというと、秋には大すきなくりやかきをたくさん食べることが出来るからです。

なぜかというと、……だからです。

(2) 次の

[]

の中にあなたが好きなスポーツと好きな

理由について、しょうかいする文を書きましょう。

(例)

わたしは、サッカーが好きです。その理由は、みんなとボールを追いかけしていると楽しいし、何といってもゴールできた時が、とてもうれしいからです。

その理由は、……だからです。

年

組

番

名前

教材6-1(2)の解答書

文章を書いたら読み返すようにしましょう。ましがいに気づいたら正しく書き直しましょう。



【例】 次の文を意味が分かるように、正しく書き直しましょう。

朝、アサガオに水がたつぷりやりました。



朝、アサガオに水をたつぷりやりました。

【問題】

(1)

秋の遠足で、けわしい山が登りました。



秋の遠足で、けわしい山を(に)(へ)登りました。

(2)

朝起きて、はじめに顔があらいます。



朝起きて、はじめに顔をあらいます。

(3)

わたしが兄は、中学校に通っています。



わたしの兄は、中学校に通っています。

年

組

番

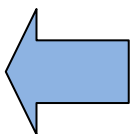
名前

教材6-3の解答書く

何かを説明する文章を書くときには、「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」などの言葉を使わないで説明するようになります。

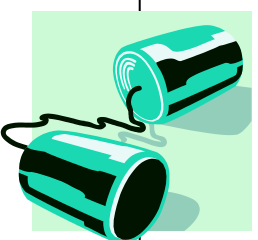
例えば、糸電話の作り方を「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」などの言葉を使わないで説明するようになります。

紙コップを二つと糸を用意します。紙コップのそこにきりで小さなあなをあけます。あなに糸を通して、紙コップの内がわをセロハンテープでとめます。糸をぴんとはって話します。



次に、「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」を使って文章を書く順番がわかりやすくなります。

はじめに、紙コップを二つと糸を用意します。
つぎに、紙コップのそこにきりで小さなあなをあけます。
それから、あなに糸を通して、紙コップの内がわをセロハンテープでとめます。
さいごに、糸をぴんとはって話します。



(1) あなたも、「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」の言葉ことばを使って、順番じゅんばんがわかりやすい文章ぶんしやうを書きましよう。

(例)れい

ゆでたまご

の作り方

はじめに、たまごをあらって、なべに入れ、たまごがかぶるくらいの水をいれて火にかけます。

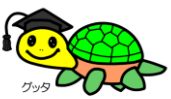
つぎに、水がふつとうするまでさいばしでたまごをころがします。

それから、ふつとうしたら火を弱めてふたをして、十分間はゆでます。

さいごに、できあがったゆでたまごを取り出し、水でひやしてからをむきます。

これでゆでたまごのできあがりです。

書き終わったら、字がぬけていないか、まちがった字はないか、読み返そうね。



年

組

番

名前

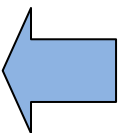
教材6-1(4)の解答

書く

何かを説明する文章を書くときには、「まず」「つぎに」「それから」などの言葉を使うと読む人に順番が分かりやすい文章になります。

例えば、「でんでんだいこ」の作り方を「まず」「つぎに」「それから」などの言葉を使わないで説明するようになります。

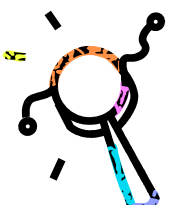
うちわの左右に小さなあなをあけます。十センチメートルくらいのひもをそれぞれのあなに通してむすびます。ひもの先に、大豆などをセロハンテープでつけます。これで、でんでんだいこのできあがりです。クルクルふってみましょう。



次に、「まず」「つぎに」「それから」を使って文章を書く順番がわかりやすくなります。

まず、うちわの左右に小さなあなをあけます。
つぎに、十センチメートルくらいのひもをそれぞれのあなに通してむすびます。

それから、ひもの先に、大豆などをセロハンテープでつけます。
これで、でんでんだいこのできあがりです。
クルクルふってみましょう。



あなたも、「まず」「つぎに」「それから」の言葉を使って、ことば 順番つかがわかりやすい文章を書きましょう。ばんしやう

ぶんぶんごま

の作り方

「むかしあそび」のどうぶ
の作り方をおぼえていま
すか。

まず、

ぎゆうにゆうパツクのそこを

はさみできりぬきます。

つぎに、

パツクのそのまんなかにあなを

二つあけます。

それから、

あなに糸を通し、糸のはしをむすぶと

ぶんぶんごまのできあがりです。

りようてで糸をもつてひっぱると

ぶんぶん回ります。

文のおわりには丸（ ）、文の中の切れ目には点（ ）を
つけて書きましょう。



年

組

番

名前

教材 6-1 (5) の解答

書く

三年生のみんなは、一年生のお友だちと、たいいくかんでいっしょにあそぶことになりました。

つぎの【れい】のように、あそびのじゅんばんがわかるようにせつめいする文章を書きましょう。

【れい】



きょうは、みんなで「おに」をついて遊ぶ。

はじめに、みんなでじゃんけんをします。いちばんまけた人がおにになります。おにになったひとは、ゼッケンをつけてください。

つぎに、みんながにげているあいだ、おにになった人は十かぞえます。十かぞえたら、みんなをつかまえてください。

そして、おににつかまった人は、つぎのおにになります。

あなたも、みんなであそびたいあそびを一年生にせつめいしましょう。もし、あそびがおもしろくないときは、次の中から一つえらんでみましょう。

ハンカチ落とし

だるまさんがころんだ

フルーツ
バスケット

かごめ かごめ

しっぽとり

かくれんぼ

年

組

番

名前

きょうは、みんなで「かくれんぼ」をしましょう。

はじめに、みんなでじゃんけんをして、おにをきめ

ます。

つぎに、おにになったひとは、めをつぶって、二十

かぞえてください。そのあいだに、おにではないひと

はおににみつからないようにかくれてください。

そして、おには、二十かぞえたら、目をあけてみん

なをみつけてください。おににみつかったひとは、

こうていのまんなかですわっていてください。ぜんい

んがみつかったら、おわりです。